

3 アンケート調査(概要)

市民アンケート調査

1 調査概要

1.1 調査方法

調査対象	浜松市在住の20歳以上の市民
標本数	2,500人
抽出方法	自治区ごとに無作為抽出
調査方法	・無記名、自己記入式 ・郵送による配布・回収
調査期間	平成17年12月1日～平成18年1月31日

1.2 回収結果

配布数	回収数	回収率
2,500人	908人	36.3%

2 調査結果

2.1 回答者の属性(表の上段:回答数、下段:%)

(1) 性別

男	女	無回答	合計
404	426	78	908
44.5	46.9	8.6	100

(2) 年齢別

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
52	121	127	190	218	193	7	908
5.7	13.3	14	20.9	24	21.3	0.8	100

(3) 職業別

農業	会社員	公務員	主婦	学生	自営業、自由業	無職	その他	無回答	合計
34	214	71	234	10	88	183	64	10	908
3.7	23.6	7.8	25.8	1.1	9.7	20.2	7	1.1	100

(4) 世帯構成別

1人世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他の世帯	その他	無回答	合計
59	209	407	180	8	33	12	908
6.5	23	44.8	19.8	0.9	3.6	1.3	100

(5) 居住年数別

3年未満	3～5年	5～10年	10～20年	20年以上	無回答	合計
68	14	37	60	712	17	908
7.5	1.5	4.1	6.6	78.4	1.9	100

(6) 居住地区別

浜松中央	浜松南部	浜松北東部	浜松西部	浜松北部	浜北	天竜	舞阪	雄踏	細江
271	119	121	100	48	97	26	15	17	28
29.8	13.1	13.3	11	5.3	10.7	2.9	1.7	1.9	3.1
引佐	三ヶ日	春野	佐久間	水窪	龍山	無回答	合計		
15	18	7	5	8	1	12	908		
1.7	2	0.8	0.6	0.9	0.1	1.3	100		

(注) 浜松中央 : 浜松地域自治区の内(中央、東、西、県居、城北、駅南、江西、北、江東、萩丘、曳馬、富塚、花川、佐鳴台地区)

浜松南部 : 浜松地域自治区の内(白脇、新津、五島、河輪、芳川、飯田、可美地区)

浜松北東部 : 浜松地域自治区の内(蒲、笠井、長上、和田、中ノ町、積志地区)

浜松西部 : 浜松地域自治区の内(神久呂、入野、伊佐見、和地、篠原、庄内地区)

浜松北部 : 浜松地域自治区の内(三方原、都田、新都田地区)

(7) 居住地区別・年代別

地区		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
浜松中央	人	18	30	39	63	67	54	0	271
	%	6.6	11.1	14.4	23.2	24.7	19.9	0	100
浜松南部	人	8	15	13	29	28	26	0	119
	%	6.7	12.6	10.9	24.4	23.5	21.8	0	100
浜松北東部	人	6	25	18	19	30	23	0	121
	%	5	20.7	14.9	15.7	24.8	19	0	100
浜松西部	人	3	16	23	14	24	19	1	100
	%	3	16	23	14	24	19	1	100
浜松北部	人	3	5	6	12	10	12	0	48
	%	6.2	10.4	12.5	25	20.8	25	0	100
浜北	人	8	16	13	15	27	18	0	97
	%	8.2	16.5	13.4	15.5	27.8	18.6	0	100
天竜	人	0	5	4	5	1	11	0	26
	%	0	19.2	15.4	19.2	3.8	42.3	0	100
舞阪	人	2	2	2	4	3	2	0	15
	%	13.3	13.3	13.3	26.7	20	13.3	0	100
雄踏	人	1	0	1	6	4	5	0	17
	%	5.9	0	5.9	35.3	23.5	29.4	0	100
細江	人	0	4	3	9	6	6	0	28
	%	0	14.3	10.7	32.1	21.4	21.4	0	100
引佐	人	0	0	1	4	5	5	0	15
	%	0	0	6.7	26.7	33.3	33.3	0	100
三ヶ日	人	2	1	2	3	6	4	0	18
	%	11.1	5.6	11.1	16.7	33.3	22.2	0	100
春野 佐久間 水窪 龍山	人	0	2	1	5	6	7	0	21
	%	0	9.5	4.8	23.8	28.6	33.3	0	100
無回答	人	1	0	1	2	1	1	6	12
	%	8.3	0	8.3	16.7	8.3	8.3	50	100
合計	人	52	121	127	190	218	193	7	908
	%	5.7	13.3	14	20.9	24	21.3	0.8	100

① 居住地域周辺の環境について

「満足」、「やや満足」の割合が高い項目は、「日当たりのよさ」、「自然の恵み」、「空気のさわやかさ」、「鳥や昆虫とふれあい」などで、逆に「不満」、「やや不満」の割合が高い項目は「近くの川、水路等の水のきれいさ」、「川、湖、海などの水とのふれあい」、「市民が気軽に利用できる公共施設（スポーツ、文化施設）」、「特徴のある建物や施設などのまちのシンボル」などです。

地区別では項目全般について浜松西部、浜松北部、天竜、舞阪、雄踏、細江、引佐、三ヶ日、春野・佐久間・水窪・龍山で満足度が高く、浜松中央、浜松南部、浜松北東部では満足度が低くなりました。

平成9年度に実施した環境基本計画のアンケート調査結果と比較すると満足度の高い項目に大きな変化はありませんが、不満度の高い項目に関しては全般に不満割合は低くなっています。前回は旧浜松市のみが調査対象でしたが、合併に伴い豊かな自然を残す市町が調査対象に加わったことによることが原因と考えられます。

◆居住地域周辺の環境（地区別 単位：％）

	満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満	無回答
自然の恵み	22.2	35.5	20.7	13.0	5.2	3.4
空気のさわやかさ	20.9	31.1	26.4	11.8	6.3	3.5
近くの川、水路等の水のきれいさ	5.4	15.5	30.0	26.5	18.1	4.5
まわりの静けさ	17.4	28.6	23.8	17.1	9.3	3.9
土地の豊かさとふれあい	9.9	26.8	39.8	14.0	4.2	5.4
住まいの周囲の清潔さ（ごみの散乱などがなく清潔）	10.8	36.6	27.8	16.9	4.1	4.0
自動車による空気の汚れやうるささの少なさ	11.7	24.6	29.6	19.3	10.8	4.1
臭い（悪臭）がなく、季節の香りが感じられる	15.0	30.3	31.4	14.6	5.1	3.6
日当たりのよさ	37.7	33.1	11.5	8.6	5.6	3.5
鳥や昆虫とふれあい	18.3	31.1	32.9	9.6	4.1	4.1
自然林や田畑の緑の豊かさ	16.7	24.3	33.0	14.9	6.8	4.2
まちなみの美しさ	6.1	19.4	46.9	16.7	6.6	4.3
まちの緑（公園や街路樹など）の豊かさ	8.7	25.7	35.0	18.0	8.3	4.4
公園や広場などゆとりのある空間の身近さ	9.8	24.6	31.9	18.2	10.5	5.1
川、湖、海などの水とのふれあい	8.7	19.7	34.7	20.9	11.0	5.0
神社やお寺などの歴史的な建物や文化財の豊かさ	7.4	21.0	45.6	14.9	6.7	4.4
特徴のある建物や施設などのまちのシンボル	3.4	13.7	47.0	20.2	10.8	5.0
市民が気軽に利用できる公共施設（スポーツ、文化施設）	5.9	18.8	39.0	20.7	10.6	5.0
身の周りの環境全般について	6.6	29.3	39.1	16.6	5.2	3.2

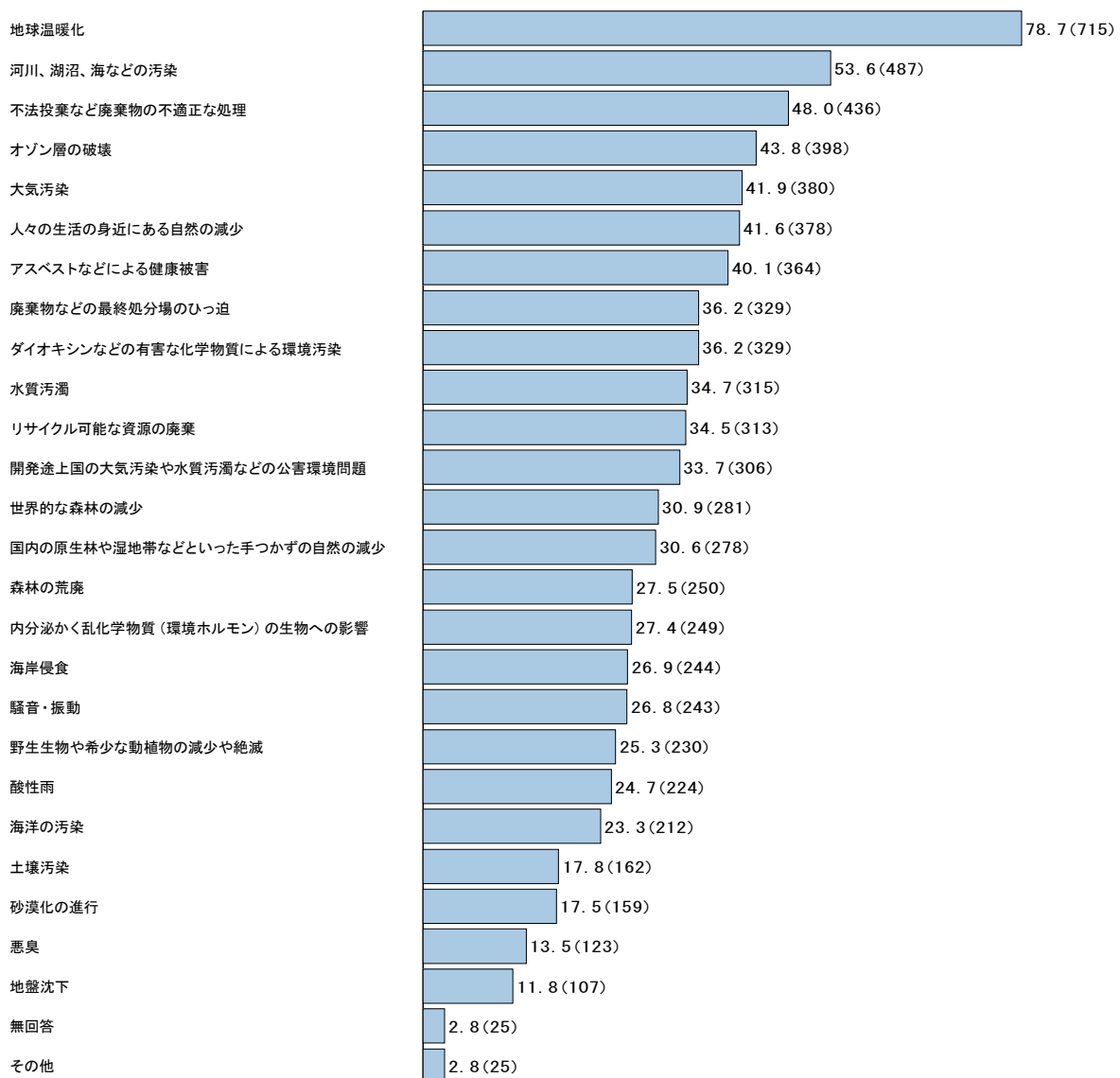
② 関心のある環境問題について

関心のある環境問題の上位は、「地球温暖化」、「河川、湖沼、海などの汚染」、「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」、「オゾン層の破壊」などで、比較的に関心の少ない環境問題は「砂漠化の進行」、「悪臭」、「地盤沈下」などです。

地区別でも「地球温暖化」、「河川、湖沼、海などの汚染」、「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」はどの地区でも関心のある環境問題です。引佐、三ヶ日地区が「水質汚濁」、雄踏、細江、春野・佐久間・水窪・龍山では「廃棄物などの最終処分場のひっ迫」を関心のある環境問題であると回答している市民が比較的に多く、地区の傾向を示しているものと考えられます。

環境省が実施した全国調査(平成 15 年度調査)¹と比較すると、全国調査においても「地球温暖化」、「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」、「オゾン層の破壊」は関心の高い項目にあげられています。

◆関心のある環境問題（複数回答 単位：％）



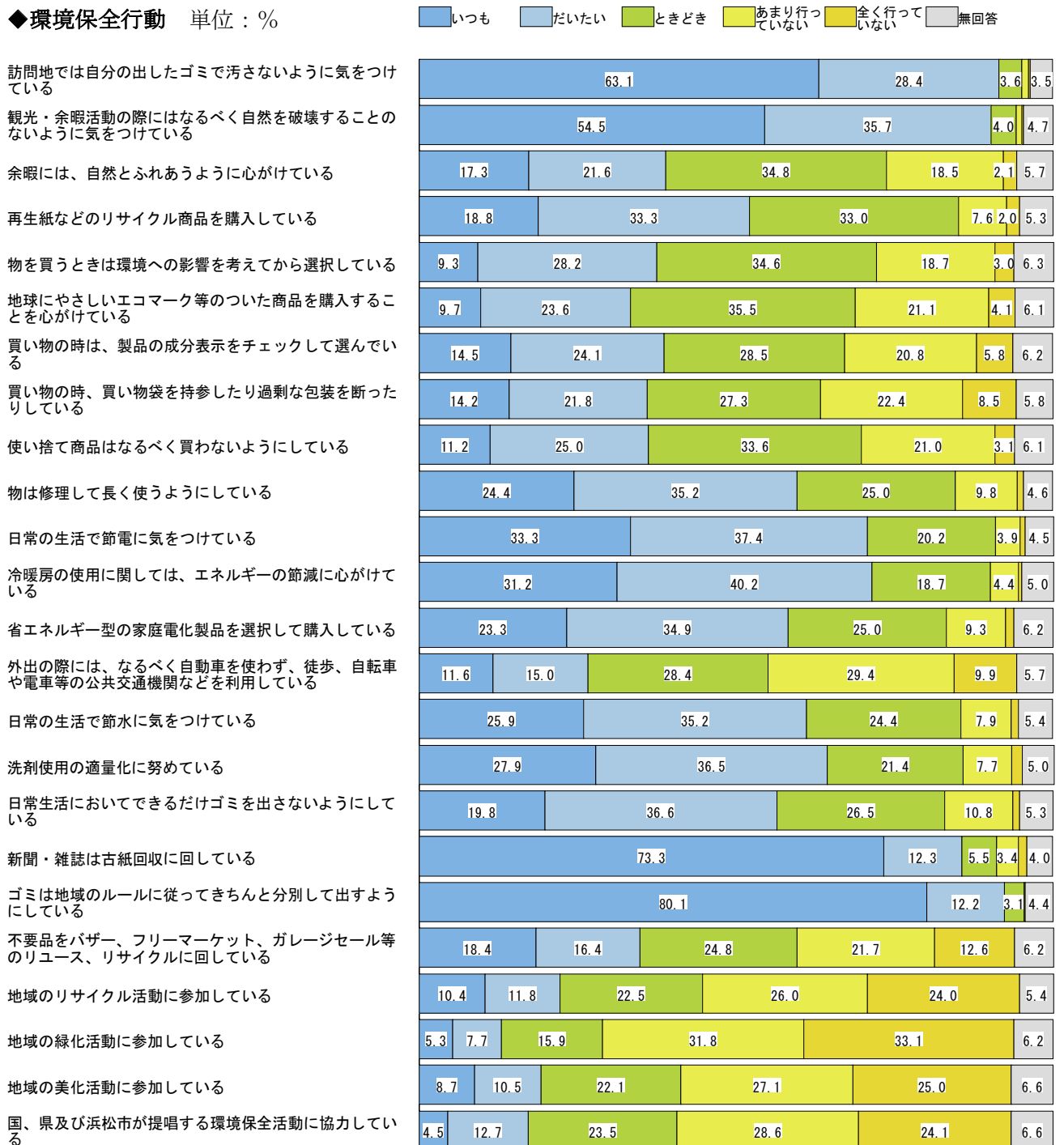
¹ 「環境にやさしいライフスタイル実態調査」、全国の 20 歳以上の男女から無作為抽出した 3,000 人を対象に行ったもので、有効回答数は 1,267 人 (http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/lifestyle/h1610_01.html)。

③ 環境保全行動について

「いつも」、「だいたい」行っている環境保全行動のうち、割合の高い行動は「ゴミは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにしている」、「新聞・雑誌は古紙回収に回している」、「冷暖房の使用に関しては、エネルギーの節減に心がけている」で、これらの意見に対しては回答者の70%以上が日常的に行っています。一方、「あまり」、「全く行っていない」の割合が高い行動は「地域の緑化活動に参加している」、「国、県及び浜松市が提唱する環境保全活動に協力している」、「地域の美化活動に参加している」で、回答者の50%以上がこれに該当しています。なお、環境省が実施した全国調査でも同様の傾向がみられます。

地区別では雄踏、細江、引佐、三ヶ日地区が環境保全行動に積極的に参加している傾向がうかがえます。

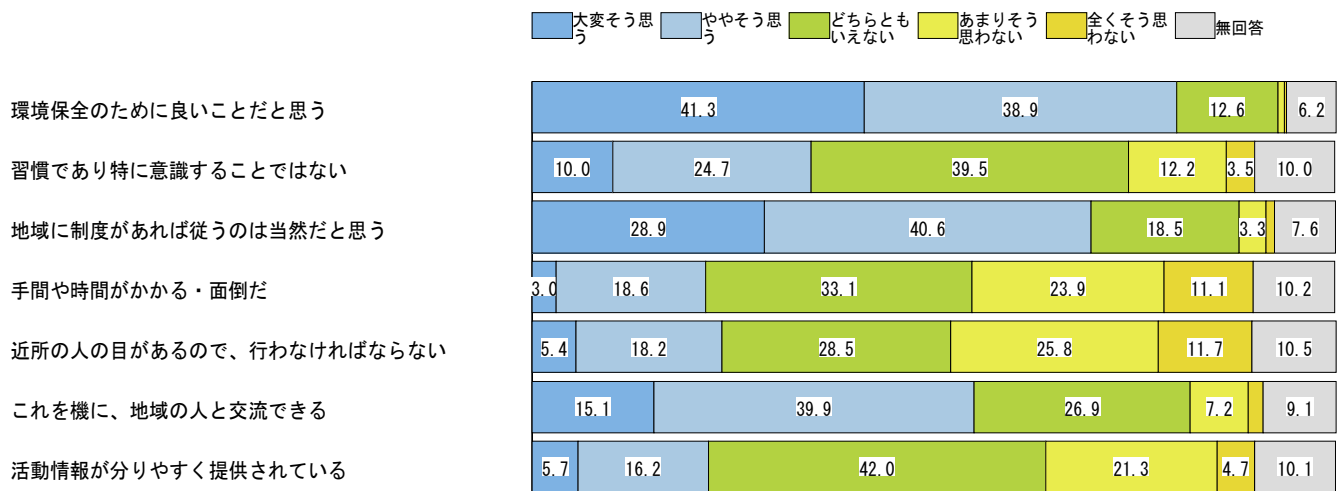
◆環境保全行動 単位：%



④ 地域の美化活動や緑化活動への参加について

地域の美化活動や緑化活動への参加に関して「大変そう思う」、「ややそう思う」の割合が高い考え方は、「環境保全のために良いことだと思う」、「地域に制度があれば従うのは当然だと思う」で、これらの意見に対しては回答者の70%以上が賛成しています。一方、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」の割合が高い考え方は「近所の人の目があるので、行わなければならない」、「手間や時間がかかる・面倒だ」で、20代はこれらの意見に対して「大変そう思う」、「ややそう思う」が40%以上で、年代間で意見の違いがみられます。

◆地域の美化活動や緑化活動への参加 単位：%



⑤ 今後の環境問題について

今後の環境問題に関しては、自分たちの世代のうちに「深刻化する」と回答した市民が81%で、「これ以上深刻化しない」と回答した10%を大きく上回っています。特に、30代、40代の市民ではこの傾向が顕著で、これら世代の90%以上が深刻化すると回答しています。前回（9年度）と比較すると、深刻化すると回答した市民がやや少なくなっています。

◆今後の環境問題（年代別 単位：%）

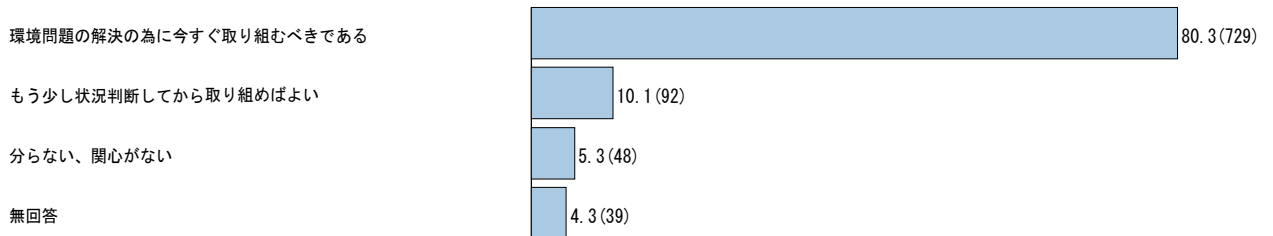
今後の環境問題	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
自分たちの世代のうちにさらに深刻化と思う	80.6	90.4	94.2	90.6	86.8	78.4	59.6
自分の世代にはこれ以上深刻化しないと思う	10	5.8	3.3	5.5	7.9	11.5	19.2
分らない、関心がない	5.1	3.8	2.5	2.4	2.6	5.5	10.9

(注) 赤色表示は全体にくらべ10ポイント以上高い年代

⑥ 環境問題の解決について

環境問題の解決に関しても、今後の環境問題と同様、「今すぐ取り組むべき」と回答した市民が80%で、「もう少し状況判断してから」と回答した10%を大きく上回っています。年代間における回答の違いは大きくはありません。前回（9年度）と比較すると、深刻化すると回答した市民がやや少なくなっています。

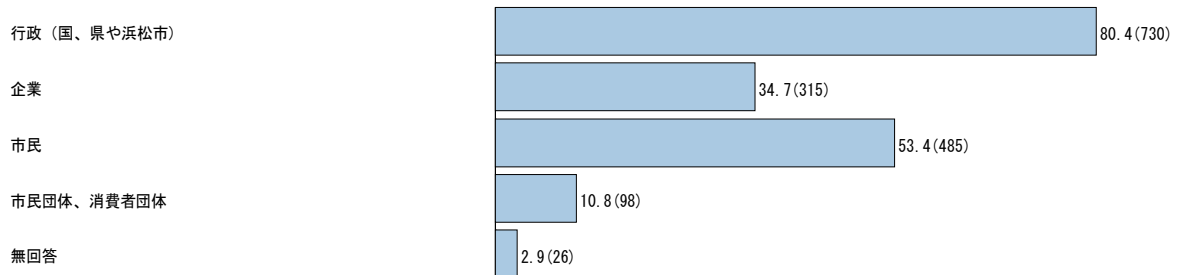
◆環境問題の解決 単位：%



⑦ 環境問題の改善にあたっての主体について

環境問題の改善にあたっての主体は、行政、市民、企業、市民団体・消費者団体の順に回答が多くなっています。年代別では20代が企業や市民が主体となるべきだと考えている回答者が、他の年代に比べ多い傾向にあります。前回（9年度）と比較すると、「行政」の回答割合が増加し、「市民」の回答割合が少なくなっています。

◆環境問題の改善にあたっての主体（複数回答 単位：%）



事業所アンケート調査

1 調査概要

1.1 調査方法

調査対象	浜松市内の事業所
標本数	500 事業所
抽出方法	無作為抽出
調査方法	・記名式 ・郵送による配布・回収
調査期間	平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日

1.2 回収結果

配布数	回収数	回収率
500 事業所	171 事業所	34.2%

2 調査結果

2.1 回答者の属性（表の上段：事業所数、下段：%）

(1) 業種

農林水産業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・通信業
2	1	28	61	2	7
1.2	0.6	16.4	35.7	1.2	4.1
卸・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業	無回答	合計
30	4	7	25	4	171
17.5	2.3	4.1	14.6	2.3	100

(2) 従業員規模

10人未満	10人～19人	20人～29人	30人～39人	40人～49人	50人～99人	
74	23	7	6	7	17	
43.3	13.5	4.1	3.5	4.1	9.9	
100人～199人	200人～299人	300人～499人	500人～999人	1,000人以上	無回答	合計
6	3	5	11	10	2	171
3.5	1.8	2.9	6.4	5.8	1.2	100

(3) 資本金規模

300万円未満	300万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上10億円未満	10億円以上	無回答	合計
17	41	39	27	8	14	13	12	171
9.9	24	22.8	15.8	4.7	8.2	7.6	7	100

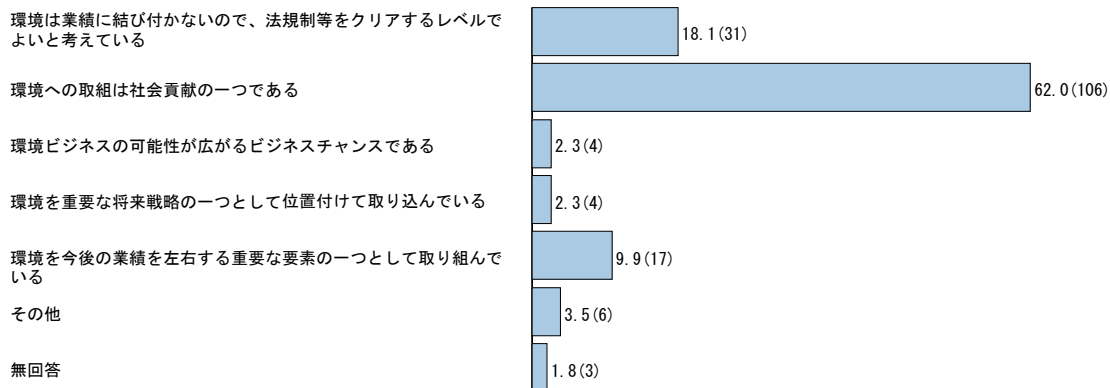
(4) 従業員規模・業種別

業種		10人未満	10～49人	50～99人	100～499人	500人以上	無回答	合計
農林水産業、鉱業、建設業	事業所数	17	10	2	1	1	0	31
	%	54.8	32.3	6.5	3.2	3.2	0	100
製造業	事業所数	15	18	11	6	11	0	61
	%	24.6	29.5	18	9.8	18	0	100
電気・ガス・水道業、運輸・通信業	事業所数	3	3	0	0	3	0	9
	%	33.3	33.3	0	0	33.3	0	100
卸・小売業	事業所数	17	3	1	5	3	1	30
	%	56.7	10	3.3	16.7	10	3.3	100
金融保険業、不動産業	事業所数	8	1	0	0	2	0	11
	%	72.7	9.1	0	0	18.2	0	100
サービス業	事業所数	12	7	3	2	1	0	25
	%	48	28	12	8	4	0	100
無回答	事業所数	2	1	0	0	0	1	4
	%	50	25	0	0	0	25	100
合計	事業所数	74	43	17	14	21	2	171
	%	43.3	25.1	9.9	8.2	12.3	1.2	100

① 企業の環境への取組と企業活動のあり方について

企業の環境への取組と企業活動のあり方については「環境への取組は社会貢献の一つである」と回答した事業所が62%ともっとも多くなっています。一方、「環境は業績に結び付かないので、法規制等をクリアするレベルでよいと考えている」と考えている事業所は18%で、従業員規模が10人以下の事業所に多くなっています。

◆企業の環境への取組と企業活動のあり方 単位：%



② ISO14001 規格の認証について

ISO14001 規格の認証については、全社（全事業所）または一部の事業所において認証を取得済みの事業所は全体の17%で、従業員規模100人以上の事業所では半数を超えています。一方、「ISO規格に関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない」と「特に関心はない」事業所は全体の60%です。

◆ISO14001 規格の認証 単位：%

